

大相撲名古屋場所7日初日

富山盛り上げたい

朝乃山

同郷の柔道日本代表・向と切磋琢磨だ



名古屋場所を前に、真場所を制し朝和初優勝土となった霜降乃山25、高砂1が同じ富山県出身で、柔道男子90kg級で8月の世界選手権代表に初選出された向翔一郎(23)と対談した。初対面の2人は、組み合う競技士の技術論から共通のテーマ「バー」まで多彩な話題で意気投合。さらなる「富山バー」の盛り上げを誓い合った。「取材、構成・木村尚公、志村祐

相撲のほうが痛い
「お互いの競技の印象は？」
向「柔道は中学の体育の授業でやってました。足技とか失敗する相手も多かったんですけど、めっちゃ痛かったです。相撲は、それよりも相撲のほうが痛いです。朝乃山の出るとは前から見てました。自分がこれと出るとき地獄の地獄です。朝乃山は、自分も相撲が好きで、いざいざと相撲をやるつもりです。朝乃山は、自分も相撲が好きで、いざいざと相撲をやるつもりです。朝乃山は、自分も相撲が好きで、いざいざと相撲をやるつもりです。

田知本遥、登坂絵莉…「負けたくない」
女性が強いイメージに「負けたくない」
朝乃山は、自然と人から「負けたくない」と言われる。朝乃山は、自然と人から「負けたくない」と言われる。朝乃山は、自然と人から「負けたくない」と言われる。

大関と金メダリストでの再会誓う

朝乃山は、自然と人から「負けたくない」と言われる。朝乃山は、自然と人から「負けたくない」と言われる。朝乃山は、自然と人から「負けたくない」と言われる。



▼朝乃山英樹(あさのやま ひでき) 本名・石橋広輝。1994(平成6)年3月1日生まれ、富山市出身の25歳。187cm、177kg。高砂部屋、小4で相撲を始め。富山所、近大を経て初土俵。17年春場所新十両、同年秋場所新入幕。今場所の東前頭筆頭が自己最高位。得意は右四つ、寄り。優勝1回、敗戦賞3回、殊戦賞1回。

▼向翔一郎(むかひいしろういちろう) 1996(平成8)年2月10日生まれ、富山県高岡市出身の23歳。柔道男子90kg級、6歳で柔道を始め、高岡第一高、日大を経てA.L.S.O.K.に所属。2017年に選抜体重別、講道館杯を制して頭角を現し、18年はグランドスラム(G.S.)パリとG.S.大阪で優勝。今年の世界選手権に個人戦代表として初選出された。178cm。得意技は内股。